



# たかばち山

平成28年3月2日

## 3月号

奄美市立東城小・中学校

### 3月の生活目標

1年間のしめくりをしよう  
1年の成長を確認しよう

校訓[自ら学ぶ] ○進んであいさつ(誠実) ○進んで仕事(勤労) ○自ら鍛える頭と体(好学・健康)

### 語り継ぎたい島ユムタ

校長

2月18日(ふとうばの日)、島口カルタの様子が新聞・テレビで報道されたことはご存知のことと思います。その数日後の朝、校内を見回っていた時のことです。1・2年生の教室前に着くと、床にランドセルが1個、

「くうりや たっかむんよ」  
わざと島口で尋ねてみました。すると、「わん。」

さんが答えました。担任が所用で休んだ時の1・2年教室でのこと、図書室で読書をすると言うので移動しようとしたときです。

「校長先生、私も少し読みました(だったと思うのですが・・・)というのはどう言うんですか。」尋ねてきたのは、さんです。私が島口で話すと、きこえないですが後に続いて一生懸命島口で話をしました。

給食時には、「きゅぬう 給食やまっさんにゃ」

の問いかけに「まっさんよ」と、必死に島口で答えようとしたのは5年のさんでした。

「まっさりよっと」「まっさりより」「まさっと」答え方を色々教えると、一生懸命答えていました。二人が一生懸命島口で話そうとする姿に感心しました。

最近、子どもたちが朝のあいさつを、「うがみしょうらん」と言ってくれます。少しでも島口に関心をもったり島口を使おうとしたりする姿を見てとても嬉しくなりました。

最初は、上手く使えないのは当たり前です。ご家庭や地域でも分かる言葉から少しでも島口を使うことにチャレンジしてほしいと思います。

「下手らがどう 上手なりゆり」

子どもたちに少しでも島口で話しかけてみてください。その一言から島口の伝承が始まると思います。



### 児童・生徒の活躍の足跡

- ◎ 明るい選挙啓発ポスターコンクール】  
鹿児島県明るい選挙推進協議会会長賞 (中1)
- ◎ 第16回やせいいきもの絵画展  
あまくろ賞 (中2)  
※「あまくろ賞」とは 絵画展開催期間中に、来館された方々が一番好きな作品を投票で選び、一番多く獲得した児童・生徒に贈られる賞です。
- ◎ 「特別支援教育研究第54号」表紙絵コンクール  
入選 (小2) (小6)
- ◎ 五色百人一首大会奄美大会  
桃礼の部 優勝 (小5)  
黄礼の部 3位 (小6)

### 奄美の文化に親しむ集会<小学校>

2月18日(木)は、奄美大島では「方言の日」。本校では、小学校で「奄美の文化に親しむ集会」と題して、大島地区文化協会長のさんを講師にお招きして、方言について学習しました。

講演のあとは、第4回「島口ことわざかるた大会」です。はじめは、低・中・高学年に分かれ、さんが読み手となり、子どもたちはかるたを一生懸命にとっていました。優勝した子どもたちは、次のとおりです。

- 【低学年】 1年
- 【中学年】 3年
- 【高学年】 5年

次は、5・6年生が読み手となり、低・中学年の子どもたちを2グループに分け、大型かるたを使ったグループ対抗戦をしました。かるたをとれた子どもたちは、島口でかるたを読みました。

なお、「奄美の文化に親しむ会」のようすは、新聞やテレビを通じて県内全域に紹介されました。



### 黒糖づくり(中学校)

2月18日(木)に、中学生が1年間かけて栽培してきたサトウキビを使って、中学生全員で黒糖づくりをしました。今年のサトウキビは、新たな品種を植栽していたおかげで、おいしい黒糖がたくさんできました。

完成した黒糖は、中学生が集団宿泊学習や福祉体験学習等でお世話になりました事業所の皆様にもお配りいたしました。

なお、さんには、土作りから植え付けの指導、手入れ、黒糖づくりまでお世話になりました。本当にありがとうございました。



### 家庭教育学級(鶏飯づくり)

2月13日(土)、第5回目の家庭教育学級(会長:小俣真理子さん)がありました。今回は、奄美の郷土料理「鶏飯」づくりに挑戦しました。

11日(木・建国記念の日)には校長先生が6羽の鶏を解体し、13日に備えました。当日は、子どもたちも参加して錦糸玉子をつくったり、柚皮を刻んだり、鶏肉をさいたり、出汁をとったりと全員で準備をしました。

そして、全員で試食をし、多くのいのちを残さずいただきました。ご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。



### 編集後記

早いもので、本年度も1か月を残すのみとなり、学校だよりも最後の発行となりました。これまでの学校教育活動にご協力・ご支援をいただきましたすべての皆様に感謝申し上げますとともに、記事や情報の提供、貴重なご意見・ご感想をお寄せいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

来年度も、学校や子どもたちのようすをお知らせするとともに、魅力ある学校だよりの編集を心がけていきたいと考えております。来年度もご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。